

# 経済への道徳的アプローチ

## ー市場への課題 マクロ的視点からー

### 0. はじめに

#### 1. 市場への道

##### ①近代化社会の多元主義的産業主義への収斂

- i. 社会的流動性による不平等減少
- ii. 階級中心の社会構造の崩壊と総中産階級化現象の進展
- iii. イデオロギーに代わる利益追求
  - - i. 政治的多元主義…権力と特定集団の癒着による利益政治へ
    - ii. 安定的民主政治…大衆動員や強いリーダーへの批判と是正→少数の職業政治家と官僚による政策決定

前提となっていた「パイの増大」の崩壊

- i. ブレトン・ウッズ体制崩壊と変動相場制への移行
- ii. 石油危機とインフレ
  - 民主政治の統治能力への疑義…民主主義の再横討→自由放任・個人主義
  - …利益政治の市場への脅威を主張

##### ②新たな収斂

- i. 冷戦終結による資本主義の絶対化
  - ii. ヒト・モノ・カネのグローバル化
  - iii. 規制緩和による政府役割の減少
  - iv. 国際機関、国際的約定による政府の自由拘束
- 国際競争による「総中流階級」の終焉と貧富の拡大  
→国民経済概念の無意味化と民主政治の経済的基礎の解体
- } 政府の役割の変化

## 2. 市場の不完全性

### ① 経済競争の前提

合理的判断に基づいた行動をしない限り競争で淘汰される

資源の最適配分のためには規制緩和政策をし、各人の自己の効用の最大化を促すべき

→ 「強い個人」に期待し自己責任化を図っても、不確定な将来については他者への依存を避けられない

### ② 構報の完全性の不全と情報の非対称性

媒体者を通してしか他者と結びつき得ない

→ 他者との関係性を媒体者に一元化することにより、諸利害の人為的一致のため、強い媒体者(=国家)が必然的に必要となる …設計主義的市場主義



必然的な他者との関係性の再構築

## 3. 経済と倫理の架け橋

・ 民主主義の基盤となる基礎経済の確立

・ 市場の中での信頼しうる媒体者への一定の依存

→ 「民主主義」、「資本主義」にのっとった上での制度としての「福祉国家」の意義

そのための社会保障への理念的アプローチ

### ① 社会保障の定義

市場経済制度の過程・帰結を国家が公正な協働の仕組みとしての持続的社會を作るという観点から補完を行う制度

・ 「基礎的ニーズ」「リスクへの対応」「自己実現の機会」を禹的とし、「欲求」ではなく、客観的で普遍化可能な「必要」を対照とずるニーズ論

・ 「基礎的ニーズ」生物的生存ではなく、人間の卓越・向上・自己実現のミニマム条件

・ 相対的正義の概念と絶対的卓越の概念

i. セーフティネット… 「基礎的ニーズ」を満たしえない個々人のリスクに社会的に対応

→ 消極的福祉政策

ii. スプリングボード… 「基礎的ニーズ」充足から自律や能力を促し、自己実現機会を保証

→ 積極的福祉政策

### ② 社会保障の制約条件

i. 限定性… 各人への全般的善の供給ではなく、「基礎的ニーズ」を権利として保障(消極的)

ii. 連携性… 社会の望ましいあり方への政策措置 (積極) グラウンドデザインの必要性

### ③ 社会保障の内在的矛盾

- i. モラルハザード…社会保障制度に便乗し、経済的利用をはかる
- ii. モラルディレンマ…社会保障が道徳的に個人の尊厳を損ずる

## 4. おわりに

多くの人間がそうであるだろうが、何かに取り付かれるとそこから脱するに非常に時間が掛かる人間である。しかし、今勉強会とそれまでの時間を通し、ようやくロールズの呪縛（失礼すぎるが）から脱せた感がある。構想は去年の秋からあったが、もう一つ脱せなかった自己実現ともようやくおさらばである。ただ、当時の構想からは非常にかけ離れたものとなっている。それは参考文献で挙げている数冊の名著に出逢えたからだ。大学生活中にこのような名著に出逢うことは、残念ながらごく稀にしかないが、その出逢いが個人的画期的進展を導いてくれる。しかし、今度はその画期的進展の地から脱する試みにさえなまれるはずである。次回の構想は「労働倫理」である。本勉強会タイトルにて「マクロな視点」とつけたのは、「ミクロな視点」を想定してのことである。

### 【参考文献】

- 佐々木毅 金泰昌編『公共哲学 6 経済からみた公私問題』東京大学出版会 2002 年
- 塩野谷祐一 『公共哲学叢書①経済と倫理福祉国家の哲学』東京大学出版会 2002 年
- 佐々木毅 『政治学講義』東京大学出版会 1999 年
- 後藤玲子 『正義の経済哲学 ロールズとセン』東洋経済新報社 2002 年
- 川本隆史編 『応用倫理学講座 4 経済』岩波書店 2005 年
- 金子勝 『思考のフロンティア 市場』岩波書店 1999 年